

加古川流域の竜山石製社寺近世石造物の分布 ～石材産地別と岩質特性からの細分類～

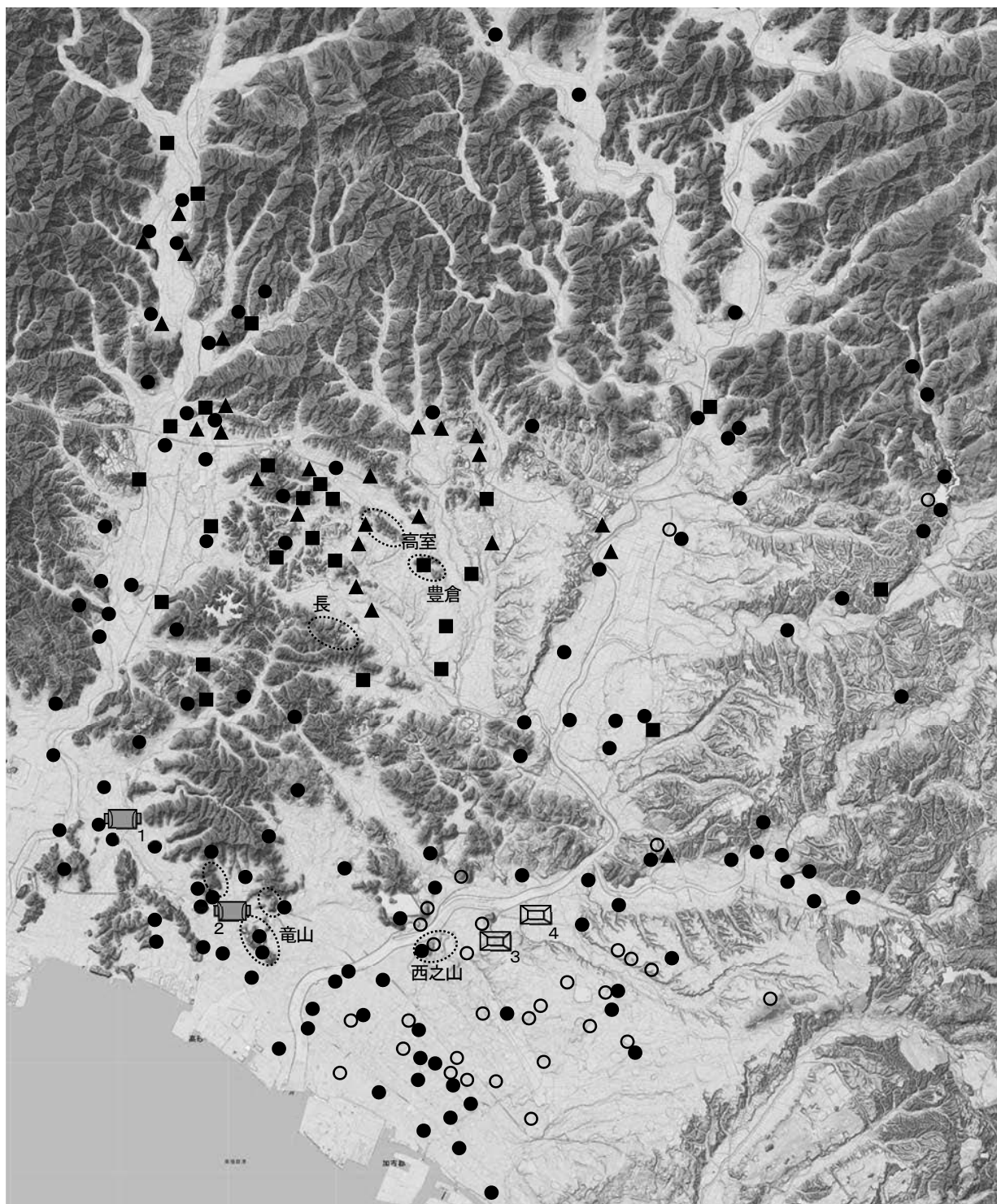
藤原清尚

1. はじめに

竜山石製石棺を調べていると明らかに高砂の竜山石と断定できるものと、よく似ているが岩石組成に違いがあるものとに分かれる。1994～2003にかけて行われた竜山石石切場跡分布・岩相調査の一員として竜山石製石棺や中近世石造物の石材を観察した。その後も個人的に2016年頃まで継続した。かつて「人と自然の博物館」研究員の先山氏が『…風化面や表面的な見た目だけを判断材料にすると間違いやすい。あくまでも岩石の分類はその石の岩片組成や基質・含有している鉱物などを調べ、分類すると間違いが起こりにくい』と言われたことがあった。そのような観点から見ると竜山石には組成や基質の異なる特徴を持った3種類の石材があるように思える。また、古墳時代から中世石造物石材の採石地は不明な点が多いが、その石材地が江戸時代になり再び採石地として開発され今に至っていることから、古墳に使用された石室材や石棺だけに拘らず、時代は異なるが同じ石材で同様の岩石組成・基質・岩色等から石棺材との観点を比較することにより石棺採石地が少しばかり確かなものに繋がるかと考え、2005年から県内旧播磨国の社寺総数約1500箇所¹の1/3、約500社寺を訪ね、石造数約600の石材特色を調査した。今回は市川～加古川流域と地域を限定して183ヶ所219点の竜山石に限っての報告である。

2. 竜山石の呼称

兵庫県播磨地方南東部加古川下流域には良質の石材が採石される。特に畿内²の大王級の古墳や瀬戸内海側地域の主要古墳の石棺に使用された『竜山石』と称される石材である。『竜山石』との名称は1974年、間壁忠彦・葭子氏が石棺石材同定解明の中で兵庫県高砂周辺に広く分布する石材を古墳時代の石棺に限り総称して「竜山石」と呼んだものである。相生付近に噴火口を持ち周辺にその火砕流による火山礫や火山灰でできた岩石「ハイアロクラスタイト（火山礫凝灰岩）」と呼ばれる流紋岩質溶結凝灰岩³は兵庫県播磨南部各地に石材地を生んだ。そのため、各地域固有の石材名を生み今に至っている。それぞれの石材地の石材は微妙にその基質・組成に特徴があり区別できる。揖保川中流域のたつの市新宮町「^{はしき}嘴崎石」、加古川流域加西市西長町「^{おさいし}長石」、同市北条町高室「^{たかむろいし}高室石」、加古川市加古川町大野「^{おおのいし}大野石」、同神野町西之山「^{にし の やまいし}西之山石」、そして高砂市の「^{たつやまいし}龍山石」がある。これらの石材名は近世江戸時代中期以降に開発が始まった頃に各石材名が付けられた。先述した総称「竜山石」では語弊がある。地域固有の石材、それに係る文化・技術があるにも関わらず名称の統一化は特定のイメージを生む。“古墳石棺に限り”という注釈はあるが、誰もが竜山石＝黄褐色風の火山礫（円礫・軽石）が顕著な石材という感じ方で、播磨南東部高砂の伊保山・竜山周辺から採取される石材と考えがちである。そのため石棺を含め各石造物から地域固有の石材・文化・産業形態を考える上において各々を細分類していく必要がある。



○… 採石場 ●・○他…図2一覧表に同じ。 1…壇場山古墳、2…時光寺古墳 3…神野石棺仏 4…セイメイさん石棺仏

第1図 市川～加古川流域の社寺近世石造物石材分布

3. 石棺材と近世石造物石材の特質

石野博信さん古稀記念論集での拙著『大和に運ばれた古墳石材「竜山石」をみる』の中では、石棺材産地特定の条件として石材組成である岩石の基質・風化度・岩色・帯磁率等多角的に観察し石材産地

の特定を試みたが、微妙に石材組成や基質に違いがあって納得できないものがあった。①つは「硬質的、基質は少なくガラス質が強い。また白色の流紋岩が多く火山灰はあまり見られない。風下面岩色は7.5Y 8/3～7/3の淡黄又は浅黄色」、②は「やや硬質、火山礫（円礫・軽石）が目立ち、加えて石英・長石等の結晶が顕著にあるもの。風化面での岩色は2.5Y 7/6～6/6の明黄褐色」、③は「火山礫も見られるが基質は白色の火山灰が多くやや軟質系。風化面での岩色は5Y 7/3～10Y 7/2の浅黄～灰白色」の3点である。姫路市の壇場山古墳の長持形石棺や奈良県桜井市メスリ山古墳の石室材・御所市室宮山古墳石室材などが①の特徴を持った石材を利用している。ただ、近世社寺石造物の中においては今のところ類似のものは見られない。②の特徴を持った石材を利用した石棺は、高砂伊保山山頂に所在していた「天岩船」などの家形石棺を中心に県内を含め奈良県・京都府・大阪など遠方の古墳に使用されている。近世社寺石造物はこの②の特徴を持った石材が中心である。③の特徴を持った石材を利用したものについては、加古川下流域東側の特定の地域に限り使用されている。石棺材では加古川市神野町の「神野石棺仏」や八幡町の「石棺仏セイメイさん」等がこの③の特徴を持つ石材を利用していると考えられている。また、近世社寺石造物としては江戸時代「西之山石工」製の石造物として限定される地域でのみ使用されている。

先ほどの石材組成・基質の違い3点の岩石特徴について、前述した論文『大和に運ばれた古墳石材「竜山石」をみる』では意を十分に伝えることができず読者に語弊を生んだ部分があった。古墳石材一覧表の中での記入で奈良県桜井市「メスリ山古墳」天理市「長岳寺石棺仏」御所市「室宮山古墳」新庄市「屋敷山古墳」と兵庫県姫路市「壇場山古墳」の各石棺材である。石材地は“^{おさいし}長石系”と述べた。場所ではなく^{おさいし}長石によく似た石という意であったが、とりかたによっては加西市系になりがちである。あくまでも高砂系竜山石に属するものであるが、この①の特徴を持つ石材産出地は場所で限れば高砂北西部から姫路市別所町までのどこかというようなことを考えている。竜山・伊保山産の石材ではガラス質的ではあるが火山礫が顕著で、岩色も黄褐色に近い。ところが、前述の大王級の石棺材ではやや異なりガラス質が非常に強く白色の流紋岩が顕著であり、火山灰は少ない。このような岩石組成や基質を持ったものは竜山・伊保山山塊では見当たらず高砂竜山・伊保山より西～北西方面の石材ではと考える。この特質を持った石材は古墳石材だけに限らず鎌倉～南北朝時代の石造物の五輪塔や宝篋印塔の石材にもみられるが、今のところ江戸時代石造物には見られない。また、石棺種類も古墳時代前期の古墳石室材や長持形石棺等に使われる。2008年、時光寺古墳の調査で長持形石棺が出土した。その報告書の中で石棺・葺石石材の自然科学分析を行った先山氏は『石棺をつくる岩石は基質が淡黄色の火山礫凝灰岩で、基質が少なく、岩片（白色の流紋岩）が多いのを特徴とする。葺石は流紋岩片が多い火山礫凝灰岩で、基質は青灰色の火山灰からなる。』また『石棺と葺石の石材に含まれる岩片に違いがあることから別の産地』とも報告されている。竜山山塊なのか別の場所なのかは現時点では不明であるが興味深い。この時光寺古墳出土の長持形石棺の石材も前述の①の石材に近いものとする。さて、②の「やや軟質で火山礫（円礫・軽石）が含まれ、石英・長石等の結晶が多い」については、家形石棺を中心に兵庫・奈良・京都・大阪各府県の古墳石棺材に使用されており、採石地も高砂竜山・伊保山山塊ものと比定したい。江戸時代開発の龍山石も同じ岩石組成や基質を持ち、同石材を利用した社寺石造物も多い。③の「やや軟質的、火山礫（軽石）が多く、基質は火山灰で軟質」の特徴を持つものは、播磨南東部加古川市東部神野から八幡町にかけての石棺材にこの特徴を持ったものがある。「神野石棺仏」や「セイメイさん石棺仏」他数点である。この石質の特徴を持つ江戸時代の石造物は加古川市の東部～西北部、及び加古郡稲美町・

三木市南部域にみられる。石工銘では【西之山石工又は大野石工】となり、現在加古川市神野町西之山地区には日坂姓の石材店がある。採石地跡は日岡神社西側^{くもりがわ}曇川沿いや神社随神門西側に石切場跡があり、その南側の地区が大野村である。また、神社北側の曇川沿いの低丘陵にも石切場跡が見られる。なお神社本殿北側の斜面に古い石切形態を持つ石切場跡や江戸時代と考える石切場跡が確認できる。なお、③の岩石組成と石質特徴を持つ石棺材と江戸期の石造物の共通点は、岩石組成や石質以外にどちらも風化状態に類似をみることである。

4. 加古川流域の社寺近世石造物石材の分布

近世石造物の分布と石材については第1図・第2図に見られる通りである。第1図においては一部石棺位置を絵画記号で表記したが近世石造物との関係を比較したい。また、図中の記号は●〈黒丸〉は高砂竜山石系（岩石特徴②）とした。なお、岩石特徴①を持った石材での近世石造物は今のところ見当たらず図中では表記していない。記号○〈白抜き丸〉は加古川竜山石系（岩石特徴③）であり、記号■は加西長石系、記号▲は加西高室石系である。また、加西市豊倉町今のフラワーセンター付近の丘陵中に高室石類似の石材地があったようで、長塚遺跡調査では室町時代中期～後半期の五輪塔・一石五輪塔の完成品や未成品及び加工時にできる屑石片が出土しており、近隣に丁場を持つ加工場の様相をもった地であったようだ。図中の採石場名を「豊倉」とした。なお、高室石系（または豊倉石系）の石材で加工された南北朝時代から室町時代後期・慶長年間の石造五輪塔や石造鳥居が姫路市南東部・加西市・福崎町・小野市・加東市の範囲で見られる。これらの石造物石材の組成や基質を明確にし、豊倉・高室の石切場跡の調査を行えばその関係が明らかになると考える。○の加古川竜山石系は、高砂系の石材特質を持つものではなく、加古川市日岡山周辺の石材地から採石されたと考える西之山・大野石系の石材で図中の採石場名を「西之山」とした。ここでの産出石材と加工品は主に加古川支流曇川流域にその石造物の分布を見ることができる。

【註】

石材の色調査は「新版標準土色帖 1993年版」（農林水産省農林水産技術会議事務局監修／財団法人日本色彩研究所色票監修）を参照

本文表の第2図「加古川流域の竜山石製近世社寺石造物分布一覧」の銘文抜粋に記載している石工人の所在地と石工名の詳細については、拙著「播磨六大大河川流域の近世近代石工・石材一覧…石工地別の石工銘集成（その1）…」『石造物研究会会誌 日引 第13号 2012』に詳しく述べている。そちらを参照していただきたい

【参考文献】

加西市教育委員会 1993 「長塚遺跡の発掘調査」『加西市文化財ニュース 4』

先山 徹 2009 「第6章自然化学分析 第1節石棺葺石の分析」『時光寺古墳発掘調査報告書』高砂市教育委員会
高砂市教育委員会 2005 「竜山石切場」

藤原清尚 2003 「大和に運ばれた古墳石材“竜山石”をみる」『石野博信編 古代近畿と物流の考古学』学生社

藤原清尚 2004 「加古川下流域の古墳石材“竜山石”をみる」『龍谷大学考古学論集Ⅰ』龍谷大学考古学論集刊行会

間壁忠彦・葎子 1974 「石棺石材の同定と岡山県の石材をめぐる問題」『倉敷考古館研究集報9』

第2図 加古川流域の竜山石製近世社寺石造物分布一覧

No.	石材 記号	所在地	住所	種類	造立年	銘文抜粋	石材	岩石名	岩石色
1	○	神出神社	神戸市西区神出町離岡山	石階		神(出)村 山口 施主池下村五百蔵	竜山石	火山礫凝灰岩	5Y7/4 浅黄
2	○	大歳神社	神戸市北区山田町衡原	鳥居			竜山石	火山礫凝灰岩	5GY7/1 明わーブ
3	●	薬師院	明石市魚住町西岡	石橋	元禄8年(1695)	元禄八年三月二日	竜山石	火山礫凝灰岩	2.5Y7/4 浅黄
4	○	住吉神社	明石市大久保町江井島	石階			竜山石	火山礫凝灰岩	10Y7/2 灰白
5	●	天満宮	加古郡稲美町野寺	常夜灯	寛政1年(1789)	寛政元年酉十二月吉日	竜山石	火山礫凝灰岩	淡黄灰色
6	●	高蘭寺	加古郡稲美町野寺	花立	文化12年(1815)	文化十二乙亥年三月吉良辰 石工 嶋村九朗大夫	竜山石	結晶ガラス質	淡黄灰色
7	○	愛宕神社	加古郡稲美町草谷	手水鉢	安永6年(1777)	安永六年丁酉十一月吉日 草谷村	竜山石	火山礫凝灰岩	5Y7/2 灰白
8	○	天満宮	加古郡稲美町草谷	石階	慶応4年(1868)	慶應四戊辰四月吉日 氏子中	竜山石	火山礫凝灰岩	10Y7/2 灰白
9	○	草谷天満宮	加古郡稲美町草谷	石階	安政3年(1856)	安政三丙辰歳 願主 大山重太夫	竜山石	火山礫凝灰岩	10Y7/2 灰白
10	○	加古八幡神社	加古郡稲美町加古新	手水鉢	文化10年(1813)	文化十癸酉年正月吉日 明石 願主 河内屋平兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	7.5GY7/1 明緑灰
11	○	加古八幡神社	加古郡稲美町加古新	常夜灯	文化7年(1810)	文化七庚午年八月吉祥日 石工 上荘村 久吉	竜山石	火山礫凝灰岩	2.5Y8/3 浅黄
12	○	若宮神社	加古郡稲美町蜻草	鳥居	安永3年(1774)	安永三年未九月吉日 西之山石工人 七兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	淡黄白色
13	○	稲荷神社	加古郡稲美町岡	鳥居	寛政12年(1800)	寛政十二甲申三月 願主山本氏 世話人藤十郎	竜山石	火山礫凝灰岩	
14	●	恵比須神社	加古川市加古川町北山	燈籠	天保5年(1834)	天保五年甲午年吉日 石工 弥兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
15	○	金守戎神社	加古郡稲美町北山	鳥居	文化9年(1812)	石工 孫兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
16	○	天満神社	加古郡稲美町北山	水盤	延享3年(1746)	延享三丙寅二月吉日	竜山石	火山礫凝灰岩	5Y7/2 灰白
17	○	天満宮	加古郡稲美町中一色	鳥居	文化12年(1815)	當村中 石工 孫兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
18	○	五社神社	加古郡稲美町和田	常夜灯	慶応元年(1865)	慶應元年五月 大野村石工 宗兵ヱ	竜山石	火山礫凝灰岩	
19	○	住吉神社	加古郡稲美町印南新村	灯籠	嘉永4年(1851)	嘉永四辛亥年八月吉辰 加古郡西之山村石工日坂七兵衛俵順吉同小三郎	竜山石	火山礫凝灰岩	7.5GY8/1 明緑灰
20	●	住吉神社	加古郡稲美町印南新村	灯籠	寛政元年(1789)	島村石工 西村氏九郎太夫 寛政元年秋九月吉日	竜山石	結晶ガラス質	5GY7/1 明わーブ灰
21	●	善福寺	加古郡播磨町大中	札所碑	弘化3年(1846)	石工 嶋村 源左衛門	竜山石	結晶ガラス質	
22	●	住吉神社	加古郡播磨町大中	常夜灯	文化5年(1808)	御神燈 文化五年辰九月吉日	竜山石	火山礫凝灰岩	7.5Y7/3 浅黄
23	●	住吉神社	加古郡播磨町二子	延石			竜山石	火山礫凝灰岩	5GY7/1 明わーブ灰
24	●	大歳神社	加古郡播磨町宮北	常夜灯	寛政11年(1799)	寛政十一年	竜山石	火山礫凝灰岩	10Y7/2 灰白
25	●	住吉神社	加古川市別府町新野辺	鳥居	延享2年(1745)	延享二年	竜山石	火山礫凝灰岩	
26	●	八幡神社	加古川市尾上町今福	狛犬	安政元年(1854)	石工 生石村 甚左ヱ門	竜山石	火山礫凝灰岩	
27	●	崎宮神社	加古川市尾上町養田	灯籠	天保5年(1834)	天保五甲午九月建之 魚崎浦 石工 常吉 印	竜山石	結晶ガラス質	
28	○	白旗観音	加古川市尾上町長田	灯籠	文政11年(1828)	文政十一戊子年 石工 政兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
29	●	住吉神社	加古川市平岡町一色	常夜灯	文政6年(1823)	文政六癸未六月吉日 世話人 小倉兵右衛門	竜山石	火山礫凝灰岩	
30	●	住吉神社	加古川市平岡町二俣	常夜灯	慶応3年(1867)	慶應三丁卯年三月 常夜灯 塩市村石工 弥三良	竜山石	結晶ガラス質	10Y7/2 灰白
31	●	住吉神社	加古川市平岡町二俣	石橋	享和1年(1801)	享和元酉歳三月吉祥日	竜山石	結晶ガラス質	7.5 Y 7/3 浅黄
32	○	住吉神社	加古川市平岡町二屋	常夜灯	慶應1年(1865)	常夜燈 慶應元乙丑歳正月吉日	竜山石	火山礫凝灰岩	10Y8/2 灰白
33	○	住吉神社	加古川市平岡町二屋	手洗石	享和3年(1803)	享和三年九月 十良石門 平兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	10Y7/2 灰白
34	●	住吉神社	加古川市平岡町山之上	瑞垣	安政5年(1858)	安政五年 嶋村石工 源右衛門	竜山石	結晶ガラス質	
35	○	正興寺	加古川市平岡町山之上	萬霊塔	享保5年(1720)	山之上村女人念佛講 享保五庚子祀七月日	竜山石	火山礫凝灰岩	5Y8/2 灰白
36	○	教信寺	加古川市野口町野口	石階	天保14年(1843)	天保十四癸卯年十一月吉辰 水足邑 石工宗兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
37	●	日国神社	加古川市野口町野口	常夜燈	享和3年(1803)	享和三年癸亥九月 大坂石工新兵ヱ 嶋村石工三良平	竜山石	結晶ガラス質	
38	○	八幡神社	加古川市神野町上西条	常夜燈	文化13年(1816)	文化十三子年七月吉日 石工孫兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
39	○	天満神社	加古川市神野町神野	鳥居	安政2年(1855)	安政二歳乙卯二月	竜山石	火山礫凝灰岩	
40	○	八幡宮	加古川市神野町西条	狛犬台	寛政7年(1795)	寛政七乙卯年 石工 嶋邑 西村源左衛門	竜山石	結晶ガラス質	
41	●	八幡神社	加古川市八幡町野村	常夜燈	文政4年(1821)	文政四辛巳年九月吉辰 石工 生石村 伊兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
42	●	日国神社	加古川市加古川町大野	水盤	文化12年(1815)	文化十二年亥九月 石工 當所 藤兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
43	○	日国神社	加古川市加古川町大野	常夜燈	文化5年(1808)	文化五年戊辰八月建之 石工 當村 亀五郎	竜山石	火山礫凝灰岩	
44	○	日向神社	加古川市加古川町大野	常夜燈	嘉永7年(1854)	嘉永七甲寅歳建立 石工 小三郎	竜山石	火山礫凝灰岩	
45	○	常楽寺	加古川市加古川町大野	石橋	享和2年(1802)	享和二壬戌四月吉祥日 西之山石工 孫兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
46	●	称名寺	加古川市加古川町木村	供養塔	文政3年(1820)	石工塩市村 伊兵衛 文政三年庚辰春三月	竜山石	結晶ガラス質	
47	●	泊神社	加古川市加古川町木村	狛犬台	寛政12年(1800)	寛政十二庚申年 當所 宮本若連中	竜山石	火山礫凝灰岩	
48	●	鶴林寺	加古川市加古川町北在家	敷石	安政3年(1856)	石場 檀家中 世話人 魚崎新邑薬屋玄兵衛門他	竜山石	火山礫凝灰岩	
49	○	鶴林寺	加古川市加古川町北在家	香炉盤	文政10年(1827)	安政三丙辰年三月建立 魚崎石工 久右衛門	竜山石	火山礫凝灰岩	
50	●	天之御中主神社	加古川市加古川町溝口	燈籠	万延元年(1860)	万延元庚申年 石工 塩市村 順左衛門	竜山石	結晶ガラス質	
51	●	八幡神社	加古川市西神吉町宮前	鳥居	宝暦4年(1754)	宝暦四歳甲戌九月吉辰 石工 鳥村庄 西村松平	竜山石	結晶ガラス質	
52	○	大歳神社	加古川市平荘町里	同上	文政9年(1826)	文政九年戊九月吉日 大野村石工 虎蔵	竜山石	火山礫凝灰岩	
53	●	長楽寺	加古川市平荘町西山	石階	文政13年(1830)	文政十三年寅七月造立 當寺 現住九世岳隻代再建	竜山石	火山礫凝灰岩	
54	●	平之荘神社 御旅所	加古川市平荘町里	常夜燈	天保13年(1842)	天保十三甲辰歳弥生吉日 生石村石工 仲右衛門	竜山石	結晶ガラス質	
55	○	報恩寺	加古川市平荘町山角	香炉盤	慶応3年(1867)	丁卯慶応三年三月吉日 石工 西之山 小三郎	竜山石	火山礫凝灰岩	

No.	石材 記号	所在地	住所	種類	造立年	銘文抜粋	石材	岩石名	岩石色
57	●	上荘神社	加古川市上荘町見土呂	鳥居	寛延3年(1750)	寛延三年庚午秋九月廿一日 託別當實雄法印建立	竜山石	火山礫凝灰岩	
58	●	法華山入口	加古川市志方町畑	道標	文政4年(1821)	直法華山道 豈文政四年辛巳五月 嶋村石工 次左衛門	竜山石	火山礫凝灰岩	
59	●	長楽寺	加古川市志方町西牧	水盤	延享4年(1747)	高砂北堀川 延享四丁卯秋七月 上院	竜山石	火山礫凝灰岩	
60	●	成井村中	加古川市志方町成井	丁石	安政2年(1855)	安政二年 シマムラ石工 吉兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
61	○	成井村中	加古川市志方町成井	常夜燈	文化8年(1811)	文化八年未二月 石工 下宮木 政兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
62	●	高砂神社	高砂市高砂町	鳥居		石工 西邨九亀松□門、中村□□左衛門	竜山石	結晶ガラス質	
63	●	住吉神社	高砂市今市	狛犬	嘉永2年(1849)	嘉永二年 石工 仲右衛門	竜山石	結晶ガラス質	
64	●	正覚寺	高砂市今市	手洗石	文化8年(1811)	生石村石工 仲右衛門 文化八年	竜山石	火山礫凝灰岩	
65	●	生石神社	高砂市阿弥陀町生石	常夜燈	天保15年(1844)	石工 惣左衛門	竜山石	火山礫凝灰岩	
66	●	生石神社	高砂市阿弥陀町生石	常夜燈	文政12年(1829)	文政十二年己丑三月吉日 當邑石工 宗右エ門	竜山石	火山礫凝灰岩	
67	●	加茂山北端	高砂市竜山	道標	天保7年(1836)	永根文峰光生遺筆観瀾処三大字碑 生石村石工 雲根室仲右衛門 天保七年春三月	竜山石	結晶ガラス質	
68	●	観瀾処	高砂市竜山	磨崖碑	天保7年(1836)	観瀾処 天保七年三月 生石村石工 仲右衛門	竜山石	火山礫凝灰岩	
69	●	阿弥陀墓地	高砂市阿弥陀町阿弥陀	石大仏	天保年間	晴誉立(地藏院主) 魚橋村住 石工太平次	竜山石	火山礫凝灰岩	
70	●	地藏院	高砂市阿弥陀町阿弥陀	手洗石		晴誉立(地藏院第十一世) 石工 文蔵	竜山石	火山礫凝灰岩	
71	●	地藏院	高砂市阿弥陀町阿弥陀	石橋	安政5年(1858)	安政五年二月 當村石工 傳兵衛	竜山石	結晶ガラス質	
72	●	鹿島神社	鹿島神社	高砂市阿弥陀町徳	嘉永5年(1852)	嘉永五子年九月 生石村 伊藤久造	竜山石	火山礫凝灰岩	
73	●	北山鹿島神社	高砂市阿弥陀町北山	常夜燈	安永4年(1775)	安永四乙未九月日	竜山石	結晶ガラス質	
74	●	時光寺	高砂市時光寺町	宝篋印塔	文化4年(1807)	文化四卯年七月吉辰 魚橋村石工 孫左衛門	竜山石	結晶ガラス質	
75	●	時光寺	高砂市時光寺町	弘法大師石像	天保3年(1832)	三界萬靈 天保三壬辰二月吉日 石工 傳兵衛	竜山石	結晶ガラス質	
76	●	西秀寺	高砂市伊保西部	雨水受	嘉永2年(1849)	嘉永二歳次乙酉秋九月 魚崎石工 甚兵衛	竜山石	結晶ガラス質	
77	●	曾根天満宮	高砂市曾根町	牛象・右	文政12年(1829)	文政十二年己丑九月吉日 東西関取陣幕門人 生石村石工 瀬助	竜山石	結晶ガラス質	
78	●	曾根天満宮	高砂市曾根町	牛像・左		石工 伊保崎邨 濱田清兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
79	●	覚正寺	高砂市米田町神爪	雨水受		施主 生石伊藤家 外別家一同 塩市石工 藤田福蔵	竜山石	火山礫凝灰岩	
80	●	石宝殿 一之鳥居	高砂市米田町神爪	鳥居	延宝8年(1680)	播州印南郡平津庄内 延宝八庚申秀孟春吉日 魚橋村 神吉氏久大夫貞信謹立恭	竜山石	火山礫凝灰岩	
81	●	西浜西岸寺	高砂市北浜町西浜	手洗鉢	元禄12年(1699)	元禄十二己卯年三月十八日	竜山石	火山礫凝灰岩	
82	●	御酒神社	三木市別所町石野	狛犬	文政2年(1819)	文政二卯年正月 石工 寫村 内海治右衛門	竜山石	火山礫凝灰岩	10Y7/2灰白
83	●	御酒神社	三木市別所町石野	鳥居	天明1年(1781)	天明元年辛丑年十一月吉日 石工寫村 内海長左衛門	竜山石	結晶ガラス質	7.5GY7/1明緑灰
84	●	御酒神社	三木市別所町石野	常夜燈	安永8年(1779)	己安永八歳亥九月吉日 石工 内海源左衛門佐之	竜山石	結晶ガラス質	7.5Y8/2灰白
85	●	大歳神社	三木市別所町下石野	常夜燈	嘉永7年(1854)	嘉永七寅年三月 御神燈 當村中	竜山石	火山礫凝灰岩	10Y7/2灰白
86	●	八幡神社	三木市別所町小林南	常夜燈	天保2年(1831)	天保二辛卯九月建之	竜山石	火山礫凝灰岩	5Y8/1灰白
87	●	熊野神社	三木市別所町興治	旧鳥居	宝暦3年(1753)	寶暦三年 興治新田村 氏子中	竜山石	火山礫凝灰岩	5Y6/4オリーブ黄
88	○	住吉神社	三木市別所町鳥町	常夜燈	安政6年(1859)	御神燈 氏子中 安政六年己未十二月	竜山石	火山礫凝灰岩	7.5Y8/2灰白
89	●	住吉神社	三木市別所町鳥町	鳥居	宝暦7年(1757)	寶暦七丁丑二月吉祥日	竜山石	火山礫凝灰岩	5Y7/4浅黄
90	▲	住吉神社	三木市別所町鳥町	水盤	天保4年(1833)	天保四癸巳年	高室石	細粒凝灰岩	5Y7/2灰白
91	●	三坂神社	三木市加佐	常夜燈	文化4年(1807)	文化四卯年四月吉辰 石工 生石村 伊右衛門	竜山石	結晶ガラス質	10Y8/2灰白
92	●	尾崎八幡宮	三木市与呂木	旧鳥居	明和3年(1766)	明和三丙戌年四月吉日	竜山石	火山礫凝灰岩	7.5Y7/1灰白
93	●	岩壺神社	三木市岩宮	常夜燈	寛政11年(1799)	寛政十一年己未三月辰 氏子中	竜山石	火山礫凝灰岩	7.5Y8/2灰白
94	●	皇大神社	三木市志染町東吉田	常夜燈	文化9年(1812)	文化九年申三月日	竜山石	火山礫凝灰岩	7.5Y7/1灰白
95	●	八幡宮	三木市志染町吉田	常夜燈	寛政10年(1798)	寛政十戊午三月 石工 西頼道	竜山石	火山礫凝灰岩	10Y8/2灰白
96	●	天一神社	三木市志染町窟屋	鳥居	享保4年(1719) 文政10年(1827)	享保四年亥十二月寺本氏寄附 文政十丁亥九月 奉再建五穀成就村内安全	竜山石	火山礫凝灰岩	10Y7/1灰白
97	●	八雲神社	三木市久留美	常夜燈	弘化5年(1848)	文化五年 石工 福□村 利右門	竜山石	火山礫凝灰岩	10Y7/2灰白
98	●	八幡神社	三木市口吉川町楮原	鳥居			竜山石	火山礫凝灰岩	7.5Y7/1灰白
99	●	春日神社	小野市来住町	鳥居	明和2年(1765)	明和二乙酉九月吉祥日 願主 當邑氏子中	竜山石	火山礫凝灰岩	
100	●	若一王子神社	小野市阿形町	狛犬	文政7年(1824)	文政七申年五月吉日 石工 塩市 源蔵	竜山石	火山礫凝灰岩	
101	●	鈴の宮神社	小野市三和町	鳥居	天保10年(1839)	天保十歳己亥三月吉辰 當所氏子中 石工 七良兵衛	竜山石	結晶ガラス質	
102	■	八王神社	小野市復井町	常夜燈	慶応3年(1867)	慶応三卯年十一月 酒見北条 取次 小林三郎太夫 願主 明石郡松陰新田 中山宗	竜山石	火山礫凝灰岩	
103	●	神明神社	小野市垂井町	常夜燈	文政11年(1828)	文政十一歳子九月吉日 寫村石工 九良大夫	竜山石	火山礫凝灰岩	
104	●	神明神社	小野市垂井町	鳥居	文久2年(1862)	文久二癸亥年四月吉祥日 塩一石工 兵右衛門	竜山石	火山礫凝灰岩	
105	●	愛宕神社	小野市葉多町	常夜燈	寛政11年(1799)	寛政十一年吉日 山城國□郡廻国中供養 立山 嶋村石工 兵蔵	竜山石	火山礫凝灰岩	
106	●	稲荷神社	小野市黒川町	狛犬	元治2年(1865)	元治二乙丑年三月吉辰	竜山石	結晶ガラス質	
107	●	浄土寺八幡 宮前	小野市浄谷町	常夜燈	天明3年(1783)	一柳对馬守越智□榮 播州加東村浄土寺 天明 三癸卯年五月 石工 西村与三兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
108	■	浄土寺	小野市浄谷町	石階	享和2年(1802)	享和二戌年石階再興	長石	火山礫凝灰岩	
109	●	祇園神社	小野市池田町	石階	文化9年(1812)	文化壬申三月吉日 施主 大坂辰巳屋弥九郎	竜山石	火山礫凝灰岩	

No.	石材 記号	所在地	住所	種類	造立年	銘文抜粋	石材	岩石名	岩石色
110	▲	大芋神社	加東市社町上田	鳥居	寛永2年(1625)	奉建立石鳥居大本願石井与左衛門尉和気□丸忠家	高室石	細粒凝灰岩	
111	○	佐保神社	加東市社町社	燈籠	慶応4年(1868)	千時寛永二乙丑曆八月吉日 大工 久衛門 敬白	竜山石	火山礫凝灰岩	
112	●	熊野神社	加東市社町山国	常夜燈	寛政5年(1793)	慶應四九月 石工喜助 石世話人 大久保三右衛門	竜山石	火山礫凝灰岩	
113	●	大師堂	加東市社町牧野	常夜燈	寛政4年(1792)	寛政五年癸丑九月吉日 願主 明石綿屋宗助	竜山石	火山礫凝灰岩	2.5Y8/4 淡黄
114	●	住吉神社	加東市社町牧野	鳥居	文化4年(1807)	寛政四年子九月吉日	竜山石	火山礫凝灰岩	5GY7/1明カーブ灰
115	●	住吉神社	加東市社町上三草	燈籠	天明2年(1782)	文化四丁卯八月吉日 石工 新町 岡本八右エ門	竜山石	火山礫凝灰岩	5Y7/3 浅黄
116	●	住吉神社	加東市社町上三草	鳥居	文政8年(1825)	天明二壬寅年十一月吉日	竜山石	火山礫凝灰岩	5GY7/1明カーブ灰
117	●	住吉神社	加東市社町上鴨川	常夜燈	天保11年(1840)	文政八年乙酉十一月再建為 石工魚橋村 神出孫左衛門	竜山石	火山礫凝灰岩	7.5Y7/2 灰白
118	▲	住吉神社	加東市滝野町河高	常夜燈	明和8年(1771)	天保十一子十一月吉日 石工 同郡新町 西山嘉助	竜山石	火山礫凝灰岩	
119	●	八幡宮	加東市滝野町曾我	燈籠	享保18年(1733)	明和八年辛卯冬十二月 石工 吉馬村 八右門	高室石	凝灰質砂岩	
120	●	天神道路辻	加東市東条町天神	道標	文政10年(1827)	享保十八癸丑十一月吉日 願人 磯治良	竜山石	火山礫凝灰岩	2.5Y8/2 灰白
121	●	住吉神社	加東市東条町吉井	狛犬	弘化3年(1846)	右大坂兵庫 文政十丁亥八月 石工 魚橋 神出左京	竜山石	結晶ガラス質	
122	●	住吉神社	加東市東条町吉井	常夜燈	天保12年(1841)	弘化三歳丙午九月 奉 當村 伊藤権重郎定信	竜山石	火山礫凝灰岩	2.5GY7/1明カーブ灰
123	●	若宮八幡宮	加東市東条町黒谷	石階	元禄12年(1699)	天保十二辛丑年仲秋 鳥村石工 清五郎	竜山石	結晶ガラス質	10Y7/1 灰白
124	○	若宮八幡宮	加東市東条町黒谷	延石		元禄十二年六月吉日	竜山石	火山礫凝灰岩	10Y7/1 灰白
125	●	秋津八幡宮	加東市東条町秋津	石階			竜山石	火山礫凝灰岩	5GY7/1明カーブ灰
126	●	八幡宮	西脇市下戸田	鳥居	明和5年(1768)	明和五戊子八月吉日 石工 魚橋村住 孫左衛門	竜山石	結晶ガラス質	
127	●	八幡宮	西脇市下戸田	狛犬	嘉永3年(1850)	嘉永三庚戌歳五月吉辰 石工 加東新村 西山嘉助	竜山石	火山礫凝灰岩	
128	●	加都良神社	多可町中区間子	常夜燈	文化10年(1813)	癸文化十年 石工 市兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
129	●	荒田神社	多可町加美区寺内	常夜燈	文化8年(1811)	御神燈 文化八辛年 龍山塩市邑石工伊兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
130	▲	八幡神社	加西市谷口町	燈籠	正徳6年(1716)	奉寄進 石燈籠 正徳六年申三月吉日	高室石	細粒凝灰岩	2.5Y8/4 淡黄
131	■	八幡神社	加西市谷口町	常夜燈	文化9年(1812)	坂田庄 文化九申年九月十五日	長石	火山礫凝灰岩	5Y7/2 灰白
132	■	八幡神社	加西市谷口町	鳥居	宝永4年(1707)	宝永四丁亥年九月吉祥日 印南郡魚橋村石大工孫左衛門	竜山石	結晶ガラス質	2.5Y7/6 明黄褐
133	■	若一王子神社	加西市三口町	常夜燈	文化5年(1808)	文化五辰九月 東長村 石工 常四良	長石	火山礫凝灰岩	
134	■	神功神社	加西市田原町	狛犬	天保10年(1839)	天保十亥年十二月	長石	火山礫凝灰岩	
135	▲	王子神社	加西市王子町	狛犬	安政4年(1857)	天保十亥年十二月	高室石	凝灰質砂岩	
136	●	里神社	加西市山下東町	旧鳥居	元禄2年(1689)	奉献 安政四年巳五月 前田兵左衛門	竜山石	結晶ガラス質	2.5Y7/3 浅黄
137	■	里神社	加西市山下東町	常夜燈	文化14年(1817)	元禄二己巳曆十一月吉日 石工 播州住□兵衛尉忠治作	長石	火山礫凝灰岩	7.5Y7/1 灰白
138	■	天満宮	加西市鶉野町	鳥居	寛政12年(1800)	文化丁丑九月吉日	長石	火山礫凝灰岩	
139	▲	多聞寺	加西市大村町	石標	寛保2年(1742)	寛政十二 石工 東長村 □四郎	高室石	凝灰質砂岩	5Y7/3 浅黄
140	■	天満神社	加西市西横田町	鳥居	文化5年(1808)	寛保二壬戌年十一月	長石	火山礫凝灰岩	
141	■	大日堂	加西市鎮岩町	萬霊塔	享和2年(1802)	文化五辰四月 東長村 石工 常四良	長石	火山礫凝灰岩	
142	▲	東高室墓地	加西市鎮岩町	萬霊塔	嘉永6年(1853)	享和二戌年十一月 石工 林兵衛	高室石	凝灰質砂岩	
143	■	若宮神社	加西市福居町	常夜燈	文政5年(1822)	嘉永六癸丑三月 石工 東高室 林清助貞治	高室石	凝灰質砂岩	
144	▲	若宮神社	加西市福居町	常夜燈	文政3年(1820)	御神燈 願主 氏子中 文政五壬午三月吉日	長石	火山礫凝灰岩	5Y8/2 灰白
145	▲	大蔵神社	加西市北条町西高室	石殿	安政6年(1859)	御神燈 文政三辰正月建之	高室石	凝灰質砂岩	7.5Y7/1 灰白
146	■	金毘羅宮	加西市北条町東南	鳥居	文政9年(1826)	安政六年未三月吉日 石工 高室 儀兵衛	高室石	凝灰質砂岩	
147	●	光専寺	加西市北条町黒駒	手洗鉢	嘉永5年(1852)	文政九歳丙戌三月吉辰 石工 長村 次兵衛	長石	火山礫凝灰岩	
148	●	住吉神社	加西市北条町北条	狛犬	明和3年(1766)	嘉永五壬子冬 西長村 石工 佐市良	長石	火山礫凝灰岩	
149	▲	八坂神社	加西市北条町古坂	狛犬	享和2年(1802)	明和三丙戌九月日 願主 市場町卯日講中	竜山石	火山礫凝灰岩	
150	■	稲荷大明神	加西市中野町	石階	江戸期末	享和二歳戌二月吉日	高室石	凝灰質砂岩	
151	■	乎疑問神社	加西市繁昌町天神	常夜燈	寛政9年(1797)	長村 石工 惣七	長石	火山礫凝灰岩	
152	▲	集落内	加西市常吉町	一字一石塔	文久3年(1863)	寛政丁巳九月上旬 東長村 石工 常四良作	高室石	凝灰質砂岩	
153	▲	天満宮	加西市常吉町	常夜燈	安政7年(1860)	文久三年 石工 高室 宗右エ門作	高室石	凝灰質砂岩	
154	▲	天満神社	加西市玉野町	狛犬	文政2年(1819)	安政庚申歳晩春建立 高室村 石工 弥三太夫	高室石	凝灰質砂岩	
155	■	大妙見宮	加西市別府町別府中町	鳥居	安永2年(1773)	文政二年卯三月 世話人 山□村 若連中	高室石	凝灰質砂岩	
156	▲	大蔵神社	加西市池上町	手洗鉢	文化9年(1812)	安永二年	長石	火山礫凝灰岩	
157	●	八王子神社	加西市田谷町	燈籠	文化6年(1809)	文化九年壬申九月	高室石	凝灰質砂岩	
158	▲	日吉神社	加西市和泉町	鳥居	元和6年(1620)	天保六年 高砂石工	竜山石	火山礫凝灰岩	
159	●	若王子神社	加西市別所町	鳥居	安永10年(1781)	元和六年	高室石	細粒凝灰岩	
160	●	若王子神社	加西市別所町	石階	文政13年(1830)	安永十辛丑天四月吉祥日	竜山石	結晶ガラス質	7.5GY7/1明緑灰
161	▲	石部神社	加西市上野町	狛犬	天保10年(1839)	文政十三年庚寅九月吉日	竜山石	結晶ガラス質	5Y7/3 浅黄
162	●	日吉神社	姫路市別所町別所	石段	嘉永5年(1852)	天保10年 乙亥九月 両殿原村 氏子中	高室石	凝灰質砂岩	
163	●	明泉寺	姫路市大塩町	雨水受	天保12年(1841)	石工 魚橋村 太平次	竜山石	火山礫凝灰岩	
164	■	集落内	姫路市飾東町八重畑	廻国塔	嘉永1年(1848)	石工 生石 藤兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
165	●	天満神社	姫路市飾東町大釜新	鳥居	宝暦5年(1755)	嘉永元年申年 小原石工 甚右エ門	長石	火山礫凝灰岩	
166	●	熊野神社	姫路市飾東町小原	燈籠	弘化2年(1845)	宝暦五乙亥年七月吉日 石工 嶋村 □□□	竜山石	結晶ガラス質	
167	●	春日神社	姫路市飾東町塩崎	燈籠	安政4年(1857)	弘化二年 當村石工 甚右エ門	竜山石	火山礫凝灰岩	
168	●	旧天川橋	姫路市御国野町御着	石橋	文政11年(1828)	安政二年 當村石工 甚右エ門	竜山石	火山礫凝灰岩	
169	●	大蔵神社	姫路市御国野町御着	燈籠	元治1年(1864)	塩市村 石工 忠七	竜山石	火山礫凝灰岩	
170	●	天満神社	姫路市御国野町国分寺	燈籠	天保6年(1835)	文政十一年二月戌 播州印南郡石工 瀬助 仲右衛門	竜山石	結晶ガラス質	

No.	石材 記号	所在地	住所	種類	造立年	銘文抜粋	石材	岩石名	岩石色
171	■	岩屋寺	姫路市豊富町神谷	燈籠	天保9年(1838)	大柳村 石工 浜兵エ	長石	火山礫凝灰岩	
172	●	大歳神社	姫路市豊富町神谷	鳥居	享和3年(1803)	享和三癸亥年三月吉日 魚橋石工 原文蔵	竜山石	火山礫凝灰岩	
173	●	甲八幡神社	姫路市豊富町豊富	鳥居	安永1年(1772)	安永元年壬辰十二月吉日 魚橋住 石工 忠蔵	竜山石	火山礫凝灰岩	
174	■	大年神社	姫路市豊富町豊富	鳥居	安政5年(1858)	安政五戊午年九月吉辰 西長村 石工 仙左エ門	長石	火山礫凝灰岩	
175	●	大森神社	姫路市豊富町御蔭	鳥居	安政5年(1858)	維時安政五龍□戊午年 龍山石工 西村吉左エ門	竜山石	火山礫凝灰岩	
176	●	三森神社	姫路市豊富町御蔭	鳥居	文政6年(1823)	□□□清水村 大工 桂築右エ門安繁	竜山石	火山礫凝灰岩	
177	●	若宮神社	姫路市花田町上原田	鳥居	安政3年(1856)	安政三丙辰辰二月初午 魚橋村石工 久右エ門	竜山石	火山礫凝灰岩	
178	●	大年神社	姫路市花田町勅旨	狛犬	文政1年(1818)	魚橋村 石工 大作	竜山石	火山礫凝灰岩	
179	●	大歳神社	姫路市野里	鳥居	慶応3年(1867)	慶応三歳丁卯秋九月吉辰立 石工 居村弥兵衛武次作	竜山石	火山礫凝灰岩	
180	●	麻生八幡神社	姫路市奥山	鳥居	弘化3年(1846)	弘化三丙午歳十二月 石工 久右エ門	竜山石	火山礫凝灰岩	
181	●	善導寺墓地	姫路市坂田町	廻国塔	享保20年(1735)	享保二十乙卯年□月十五日 石工□屋 垣内氏藤原□次	竜山石	火山礫凝灰岩	
182	●	大年神社	姫路市保城	鳥居	安政3年(1856)	安政三丙辰年三月上旬 石工 材木町居村弥兵衛武次作	竜山石	火山礫凝灰岩	
183	●	射楯兵主神社	姫路市総社本町	燈籠	宝暦12年(1762)	宝暦十二壬午年正月吉日 石工 嶋邑 平次郎	竜山石	火山礫凝灰岩	
184	●	八幡神社	姫路市仁豊野	燈籠	文政13年(1830)	生石 魚橋村 神出氏	竜山石	火山礫凝灰岩	
185	●	大年神社	姫路市上大野	鳥居	天保14年(1843)	天保十四癸卯年十月再建 石工 毛野 善之助 弥蔵	竜山石	結晶ガラス質	
186	●	天満神社	姫路市奥平野	鳥居	文政7年(1824)	文政七甲申歳正月吉日建之 石工 材木町在 居村茂十郎武次作之	竜山石	結晶ガラス質	
187	■	正八幡社	姫路市船津町宮脇	鳥居	享和2年(1802)	享和二壬戌歳四月吉良日 東長村石工 善四郎	長石	火山礫凝灰岩	
188	●	天満神社	姫路市山田町北山田	鳥居	明和2年(1765)	明和二年乙酉正月吉日 鳥村 西邨氏 石工 市右衛門	竜山石	火山礫凝灰岩	
189	■	大歳神社	姫路市山田町東多田	鳥居	文化5年(1808)	文化五戊辰四月吉日 東長村 石工 常四郎	長石	火山礫凝灰岩	
190	●	竹宮神社	姫路市香寺町犬飼	鳥居	文化5年(1808)	文化五戊辰年 嶋村 垣内与兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
191	●	一原大明神	姫路市香寺町香呂	鳥居	文政6年(1823)	文政六年 塩市村石工 岸本忠右衛門	竜山石	火山礫凝灰岩	
192	●	大年神社	姫路市東延末	燈籠	慶応3年(1867)	慶応三稔 石工 西川屋伝兵エ 同 蔦村嶋 順右エ門	竜山石	火山礫凝灰岩	
193	●	大年神社	神崎郡福崎町余田新田	鳥居	文化5年(1808)	文化五戊辰年二月吉日 印南郡生石村 石工 林兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	
194	●	宝生院	神崎郡福崎町西光寺	常夜燈	文政11年(1828)	文政十一年	竜山石	火山礫凝灰岩	
195	■	熊野神社	神崎郡福崎町西田原田尻	手洗石	寛政5年(1793)	寛政五年九月	長石	火山礫凝灰岩	
196	▲	大善寺	神崎郡福崎町西大貫	燈籠	文化9年(1812)	文化九年壬申三月吉祥日 石工 久兵エ	高室石	凝灰質砂岩	
197	●	大善寺	神崎郡福崎町西大貫	手洗石	天保14年(1843)	天保十四卯霜月日 現住 隆導 石工 文蔵	竜山石	火山礫凝灰岩	
198	▲	天満神社	神崎郡福崎町東大貫	狛犬	天保10年(1839)	奉納氏子中 天保十亥年一月吉日	高室石	凝灰質砂岩	
199	▲	岩尾神社	神崎郡福崎町東田原	鳥居	慶長16年(1611)	慶長十六辛亥年十一月十九日 本願快祐 大公 森右衛門	高室石	凝灰質砂岩	
200	●	地藏堂前	神崎郡福崎町東田原	常夜燈	文化12年(1815)	文化十二年乙亥三月 現住法印惠興代	竜山石	結晶ガラス質	
201	▲	大歳神社	神崎郡福崎町東田原亀坪	鳥居	文政13年(1830)	再建文政十三寅年十一月 石工 東高室 儀兵衛	高室石	細粒凝灰岩	
202	●	二之宮神社	神崎郡福崎町山崎	鳥居	享保18年(1733)	享保十八癸丑歳九月十九日謹建立之 石匠印南 郡嶋村住人 西村奎兵衛	竜山石	火山礫凝灰岩	10Y8/1 灰白
203	▲	諏訪神社	神崎郡市川町上田中	常夜燈	文化10年(1813)	文化十年酉九月	高室石	細粒凝灰岩	10Y7/1 灰白
204	●	諏訪神社	神崎郡市川町上田中	狛犬	文政11年(1828)	(呟) 文政十一戊子年九月吉日 姫路角屋善兵衛作	竜山石	結晶ガラス質	7.5Y8/2 灰白
205	■	岩戸神社	神崎郡市川町上牛尾	常夜燈	宝暦6年(1756)	宝暦六丙子天正月吉日	長石	火山礫凝灰岩	5Y6/6 オリーブ
206	●	岩戸神社	神崎郡市川町上牛尾	狛犬	寛政8年(1796)	寛政八丙辰八月	竜山石	結晶ガラス質	2.5Y7/3 浅黄
207	●	天満神社	神崎郡市川町小室	常夜燈	天保3年(1832)	天保三壬辰年四月吉日 田中村	竜山石	結晶ガラス質	5Y8/2 灰白
208	●	天満神社	神崎郡市川町小室	牛像	安政2年(1855)	氏子中 安政二卯九月吉日	竜山石	火山礫凝灰岩	7.5Y7/1 明緑灰
209	●	大歳神社	神崎郡市川町奥	狛犬	天保14年(1843)	天保十四癸卯十二月吉日 三ヶ邑 氏子中	竜山石	結晶ガラス質	7.5Y8/2 灰白
210	●	大歳神社	神崎郡市川町奥	常夜燈	延享2年(1745)	奉寄進御神燈 神崎郡甘地村 延享二乙丑四月	竜山石	結晶ガラス質	10 Y 8/1 灰白
211	▲	大歳神社	神崎郡市川町奥	水盤	天保9年(1838)	水盤 天保九戊戌四月吉日	高室石	凝灰質砂岩	7.5 Y 8/2 灰白
212	▲	姫大神社	神崎郡市川町奥	常夜燈	天保2年(1831)	天保貳辛卯年吉日	高室石	細粒凝灰岩	7.5Y8/2 灰白
213	●	天満神社	神崎郡市川町小畑	常夜燈	明和3年(1766)	天満宮 明和三年戊九月吉日 西小畑村天神講中	竜山石	結晶ガラス質	5Y8/2 灰白
214	▲	天満神社	神崎郡市川町小畑	水盤	安永7年(1778)	安永七戊戌九月吉祥日 小畑氏	高室石	凝灰質砂岩	10Y6/2 オリーブ灰
215	●	天満神社	神崎郡市川町小畑	旧鳥居	文化11年(1814)	文化十一季甲戌十一月 郷内氏子中	竜山石	結晶ガラス質	7.5Y7/2 灰白
216	●	石神社	神崎郡市川町屋形	常夜燈	文化7年(1810)	常夜燈 文化七庚午年四月吉祥日	竜山石	火山礫凝灰岩	5Y7/3 浅黄
217	▲	石神社	神崎郡市川町屋形	燈籠	宝暦12年(1762)	宝暦十二年	長石	火山礫凝灰岩	2.5Y7/4 浅黄
218	▲	石神社	神崎郡市川町屋形	常夜燈	嘉永6年(1853)	献灯 嘉永六癸丑年 氏子中	高室石	凝灰質砂岩	5GY7/1 明ノブ灰
219	■	天満宮	神崎郡神河町見野	常夜燈	文化7年(1810)	常夜燈 文化七庚午年九月吉日 氏子中	長石	火山礫凝灰岩	10Y7/1 灰白